

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	016 市長へのたより・メール等広聴事業					
予算科目	01-020104-13 広聴事業に要する経費			担当部課	市長公室広聴室	
市長公約				係名		
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画				事業期間	毎年度	
				SDGs	16平和と公正をすべての人に	
根拠法令等						

## 事業の概要

対象	市民等、市職員
目的	市民等から広く市政に対する意見・要望等を聴き、より良い市政運営にいかす。庁内各部署が行政としての説明責任を果たし、市民の理解・納得を得られるよう、市民とのコミュニケーションをサポートする。
概要 (取組内容)	市庁舎や地域交流センター等に設置している「市長へのたより」の専用はがきや、市ホームページに設置している「市長へのメール」送信フォーム、Eメール、はがき、封書、要望書、電話、面会による意見等の聴取 聴き取った意見、提案等を「市民の声支援システム」に登録し、特別職、関係部署、政策員等と情報共有の上、必要に応じて市から相談者に対する回答の調整等

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	113	113	106	138	138	
	決算額	(千円)	105	110	121	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	105	110	121	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	13,348	10,287	10,371	15,138	15,138	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.90	1.40	1.40	2.10	2.10
		正職員時間外勤務	(時間)	174.00	296.00	342.00	342.00	342.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

## 指標の推移

1	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	( )					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

#### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	意見・要望等の收受後は、関係部署と速やかに連絡調整を行い、各部署による回答案作成の進捗管理をこまめに行うとともに、担当部署が回答作成や対応に苦慮している場合は、必要に応じて助言等を行った。	
成果	市民の声を関係部署と迅速に共有・調整を行い、速やかな対応・回答に努めた。苦情等は市民の主張を丁寧に聴取し、関係部署と市民の仲立ちとしてコミュニケーションの円滑化に寄与した。できる限り市民の理解・納得を得られるよう、市民に寄り添う分かりやすい回答を作成した。要望等の対応数1,223件（うち文書等による回答を要するものは636件、40日以内の回答率62.3%）	
課題	業務	複数部署にまたがる案件や、複雑な調整を要する案件、担当部署による回答案作成や特別職の決裁に日数を要する案件は、目安である40日以内の回答が困難なケースもある。各部署の既存の所掌業務の範疇では対応できない要望等が増えており、的を射た回答の調整が困難な場合がある。
	組織、予算等	
改善目標	引き続き、意見・要望等の收受・聴取後は、関係部署と速やかに連絡調整を行い、各部署による回答案作成の進捗管理をこまめに行うことで、できる限り相手方への回答に要する日数の縮減を図る。市の既存業務の範疇で対応できない要望等にも、できる限り理解・納得を得られるような回答の調整に努める。	

#### 評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

#### 方向性

方向性	継続
理由	-

# 令和 4年度 事務事業マネジメントシート

## 事業の基本情報

事務事業名	015 市長と住民の意見交換会事業						
予算科目	01-020104-13 広聴事業に要する経費				担当部課	市長公室広聴室	
市長公約					係名		
戦略プラン	I-1	3	1	市政情報等の発信		新規・継続	継続
						事業分類	自治事務（任意）
						事業体制	職員のみ
個別計画					事業期間	毎年度	
根拠法令等					SDGs	16平和と公正をすべての人に	

## 事業の概要

対象	市民
目的	市民に市政を身近なものとして感じてもらうとともに、市民の意見を今後の市政にいかす。
概要 (取組内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市長と市民との直接的なコミュニケーションの場としてタウンミーティングを開催</li> <li>・市長が市内6会場に出向く対面形式タウンミーティングのほか、オンライン形式も開催</li> <li>・大学生に市政への理解・関心を深めてもらい、学生ならではの意見を聴くため、学生懇談会を開催（筑波大学との協働事業）</li> </ul>

## コストの推移

項目			令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	
事業費	予算額	(千円)	423	198	201	169	169	
	決算額	(千円)	7	100	130	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	100	130	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	776	4,572	4,888	6,931	6,931	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.10	0.60	0.60	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	39.00	194.00	328.00	328.00	328.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

## 市民参加の取組状況

共有、理解	市長による参加者への市政に関するプレゼンテーション、市長と参加者の意見交換
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	参加者アンケートによる当事業に関する意識調査

## 指標の推移

1	指標名	タウンミーティング参加人数 (人)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	340.0	340.0	90.0	340.0	340.0	340.0
	実績	302.0	0.0	39.0	167.0	0.0	0.0
	指標の概要	タウンミーティングに参加した市民等の合計人数					

2	指標名	学生懇談会参加人数 ( 人 )					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	実績	33.0	27.0	15.0	19.0	0.0	0.0
	指標の概要	「市長と筑波大学学生による懇談会」に参加した学生の人数					
3	指標名	タウンミーティング参加後に市政に親近感が感じられた割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	64.0	66.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	実績	80.0	0.0	100.0	89.0	0.0	0.0
	指標の概要	参加者アンケートで「タウンミーティングに参加して、参加前と比べて、市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に、「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合					
4	指標名	学生懇談会参加後に市政に親近感が感じられた割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0
	実績	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	指標の概要	参加者アンケートで「学生懇談会に参加して、参加前と比べて、市政が身近なもの・親しみやすいものと感じられましたか」の間に、「感じられた」又は「どちらかといえば感じられた」と答えた人の割合					
5	指標名	タウンミーティングに初めて参加した人の割合 ( % )					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	実績	60.9	77.8	75.0	51.3	0.0	0.0
	指標の概要	参加者アンケートでタウンミーティング参加を「初めて」と回答した人の割合（個別施策 I-1-③市政への市民参加の推進 指標 2）					

### 事業の成果と課題

前年度の課題への対応	新型コロナウイルスへの感染対策を講じたうえで対面形式での開催をしたことに加え、オンライン形式でも開催した。
成果	対面形式では高齢者層の参加が多く参加者年齢層に偏りが見られたが、オンライン形式では年齢層の偏りが緩やかであったため幅広い層からの意見等が寄せられた。いずれの会においても、市長と参加者の直接的なコミュニケーションを通じ、参加者が市政をより身近なものとして認識する効果が得られた。
課題	<p>業務</p> <p>タウンミーティング参加者の年齢層に偏りがあるため、今後は幅広い年齢層の市民に市政を身近なものと感じてもらえる機会となるよう、開催形式や開催方法、周知方法について再検討する必要がある。</p> <p>組織、予算等</p>
改善目標	引き続き、タウンミーティングの認知度をより高め、参加割合の低い20代～40代の年齢層の参加を促すような内容・周知方法等を検討する。

### 評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

### 方向性

方向性	縮小
理由	学生懇談会に参加する学生数が減少していること、またタウンミーティングに学生が参加することで、学生と地域の人が繋がりを作り、共にアクションを起こすことなどが期待できることから、令和5年度以降は本事業については開催せず、学生にはタウンミーティングを案内することとした。